

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和5年9月27日(水) 午前10時から午前11時45分まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 (委員)	佐藤勝巳(会長)、伊藤裕厚(副会長)、若松良一、星野正義、長谷川理、 寿原淑郎、御園生誠子
欠席者氏名 (委員)	なし
事務局	川和田教育部長、高屋課長、名古屋主幹、本橋主幹、金子主事
説明のため 出席した者	なし
議 事	(1) 令和4年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について (2) 令和5年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画及び事業報告 (上半期) について (3) その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	・資料1 戸田市立郷土博物館要覧【令和5年度】 (令和4年度事業報告) (令和5年度事業予定) ・資料2 令和5年度事業報告(上半期) ・資料3-1 小学6年生学習サポート/とびだせ歴史たんけん隊 (令和2年6月発行) ・資料3-2 常設展示学習サポート(令和5年3月発行)
議事録確定	令和5年10月11日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料1～資料3）の確認。
教育部長	2 委嘱状交付
事務局	戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第2項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
教育部長	3 教育長あいさつ（代読）
会長	4 会長あいさつ
委員・事務局	5 委員・事務局の紹介
事務局	次第6の議事に移る。議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第1項の規定により、会長が務める。 ※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。
会長	6 議事 (1) 令和4年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告について 議事(1)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1に基づき、事務局から説明
会長	議事(1)について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
会長	先ほど、彩湖自然学習センターの活動が戻ってきているとお話を伺った。1点確認したいのが、博学連携事業の中で小学校3年生の授業を8月に行ったと伺ったが、これは夏休み中に行ったということか。

事務局	夏休みが終わってから行った。
会長	<p>児童は自然体験を非常に楽しみにしていたと思うが、ここのところ非常に暑いので、もし来年度実施するとなったら色々配慮しなくてはいけないのではないかと。コロナだけではなく、熱中症の対策などもして行ってほしい。野外活動が多いため、その辺りも気をつけていただきたい。</p>
事務局	<p>昨年度と比べて今年度かなり暑いため、屋外で行う活動の短縮をしている。まとめの授業を外ではなく、5階の展示室でしている。学校と協議をしながら、熱中症対策に十分配慮のうえ実施をしているところである。</p>
委員	<p>博物館授業で、かつて駕籠<small>かご</small>に乗せてもらう経験や、衣装を着させてもらった経験があるが、そういったことは今も行っているのか。</p>
事務局	<p>昨年度まではコロナの関係で博物館授業はオンライン授業だった。今年度については6年生授業を来館で行い、3年生授業も来館で行う予定である。以前は着られる衣装もあったと思うが、現在は資料を精査しているところである。ただ、昔の道具を直接手に取って使っていただいて、重さがどうなのかとかコツがどうなのかとか感じていただきたいところではあるため、年明けの3年生授業でも実施するときは、道具の体験をしてもらう授業内容を考えているところである。</p>
委員	<p>資料のうち、貸出のところで、2月の時期が集中して似たような道具をどの学校も借りているが、資料の数的にはかなりあるのか。</p>
事務局	<p>12校一度に来てしまうと厳しい。今この資料に載っている道具は、だいたい3点ずつあるものである。最大3校くらいだったら調整がつくと思う。</p>
委員	<p>3年生も来館できるということであれば、こういった資料も博物館で触らせてもらうことが可能になるということか。</p>
事務局	<p>はい。また、博物館の中で全てを体験するのは難しいと思うため、博物館授業が終わった後に事後学習ということで資料の貸出申請を受けている。そ</p>

<p>委員</p>	<p>の資料の観察や体験も可能である。</p> <p>国語の物語教材の中で、少し昔の話になると、そこに出てくる昔の道具の名前があっても子供たちは全然イメージがつかないなど、かなり私たちが子供のときと違う状況がある。小学校の国語の授業の中で扱われる道具の名前とか、3年生に限らず6年生まで見通して、活用検討委員会の中で話題にさせていただけると良いのかと思った。</p> <p>また、彩湖の方だがこの暑さの中だと虫もあまりいないのではないかと思った。実際、センター授業を9月とか10月とか、ひと月ずらして開催は可能なのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育政策室と協議をした中で、8月の終わりから小学校が始まるので、その時期から10月の初旬までということで日程を設定させていただいた。その中で、学校からいただいた希望日に10月がなかった。9月中で実施をしたいという希望があったので行った。なお令和4年度については9月に台風の接近が近づいていることもあったので、学校側と協議をした結果10月に授業を行ったため、期間が長いところである。昆虫については、今年度暑いということもあり、蝶がとばなかったが、トンボとバッタが沢山とんでいた。昆虫の体の仕組みを知るという出張授業のテーマに沿って、間近に感じていただけたのではないかと思う。日程については、学校と調整させてもらえればと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>選べる期間を延ばすというのは今後考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>あまり期間を延ばすと昆虫がいなくなってしまう。小学生が見られる昆虫の種類も、後になればなるほど少なくなってしまう。彩湖周辺の自然の特徴であるが、年度によって状況も違うので、その都度調整させていただければと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>1点またお聞きしたいことがある。昔の道具をつかってみようの写真の中にセンバコキがある。昔は稲藁を確保することに苦勞していたが、現在はどうされているのか。</p>

事務局	現在はこちらにいる、委員の田んぼでとれたものをご協力いただいでご提供いただいている。
会長	田んぼをやられている方が少なくなり博物館で苦勞されていたという話を聞いていたのでよかった。学校の田んぼ以外でも委員の方で稲藁を作っているのか。
委員	1ヘクタール以上をつくっている。機械の設定で藁を切らない設定ができる。稲の米の部分だけ落とせて、藁の長い部分を残すことができる。脱穀のときは手刈りをする。田んぼの隅の方を綺麗にやろうと思うと機械でうまく進入ができないため、隅の方を手刈りする。そういったものを集めてお持ちしている。
会長	体験の田んぼでは子供たちに手刈りとかもしてもらうのか。
委員	学校の田んぼだと面積も小さいので手刈りである。あとは、私の田んぼまで来て手刈りをしたい場合は手刈りの体験もしてもらうときがある。
副会長	講座のリピーター率はどのくらいあるのか。
事務局	彩湖自然学習センターのリピーター率だが、野鳥観察会は30分で全て埋まってしまうほど人気のある講座であるため、今年度彩湖自然学習センターの野鳥専門の学芸員で3回講座を実施させていただくが、令和4年度に野鳥観察会に全部出られた方がいた。大変面白いというアンケートもいただいでおり、昆虫は昆虫で常連、野鳥は野鳥で常連がいる。また、常連だけではなく他の講座にも視点を変えて参加していただいでいるところである。
事務局	博物館講座では、子供と大人の方角の講座でまた異なる部分がある。子供の講座では、博物館授業やオンライン授業を受けた中で、実際にもう一度道具を使ってみたいというときに子ども体験ひろばに申込みいただくことがある。もう少しじっくり火おこしの道具を使ったり、昔の道具を体験するなど、授業で少しとっかかりができた子供が博物館講座に参加して、「この間授業を受けたよ」と言ってくれることがある。あとは彩湖の講座とあわせ

	<p>て子ども体験ひろばに年間5回参加し、スタンプが5個たまると、ミミズクのストラップや景品をもらえる、というのをやっている。中にはそのカードを持って参加する子供もいる。</p> <p>大人の方に関しては、文化財やアーカイブズセミナーに参加していただくことがある。市の生涯学習の方で「市民大学講座」と冠をつけて行っている講座に関しては、市民大学の参加証というものもあるので、それをお持ちいただくことがある。何パーセントのリピーターかは分からないが、「また来ましたよ」と仰っていただく方はいる。</p>
会長	<p>彩湖は動画も配信しているので良いと思う。他にご意見・ご質問等がなければ、議事（1）については以上とする。</p>
会長	<p>議事（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料2に基づき、事務局から説明。</p>
会長	<p>議事（2）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
委員	<p>郷土博物館とコラボした戸田翔陽高等学校の写真部の展示だが、素晴らしい取り組みだと思った。博物館利用者のうち、数が少ないのは高校生である。小中学校の義務教育の中で博物館の利用を教えているが、高校生になると受験勉強をする人はする、その他の人は娯楽にいつてしまう。そのため、博物館というものを忘れてしまうのが高校時代だと思っている。今後は博物館を成人にも利用してもらうためには、高校生を敬遠しないでうまく取り込んでいく必要がある。そうでないと、子供対象かお年寄りの対象などの事業しかできない博物館になってしまう。そのため、今回の取り組みは良かったと思う。反応はどうだったかということと、一度で終わらせないで今後ミドルヤングを対象とした事業を継続的にやる見通しや心づもりはあるか教えていただきたい。</p>

事務局	<p>今回、戸田翔陽高校の場合は特別展示室を利用した展示になった。戸田翔陽高校と同じ敷地内には高等特別支援学校がある。そちらの高校については生徒がつくった作品があり、インスタレーションアートということで、その作品をロビーの吹き抜け部分から吊り下げる、空間全体をつかった展示を昨年度から実施している。調整中ではあるが、今年度も1回か2回ほど、ある程度期間をとって、テーマ性を持たせて展示をしていただく予定である。来年度以降も折角関係性ができているものもあり近場ということで、話し合いも緊密にできる環境ではあるので引き続き両校の方にお声かけをして、それぞれ日程調整をさせていただいてできるものを行っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>子供が来れば親や兄弟が来るという傾向はあったか。</p>
事務局	<p>ロビーを使ったインスタレーションアートの展示のときは、やはり家族と思われる方と一緒に来てご覧になっていた。写真展の場合は、高校生の友人が来ていたり、他のクラスの担任が生徒を連れて来場していた。生徒の中でのつながりや、生徒の家族も来ているという形になる。</p>
委員	<p>こういった催しを続けていくという取り組みは、大いに戸田の博物館にとって今後の明るい材料になるかと思う。自分たちの発表の場で終わるのではなく、歴史や民俗とか自然の分野に少しずつひきこめるような工作も同時に考えてもらえれば良いと思う。戸田の展示があつたら招待をするなど、良い機会なので方法を色々多面的に相談していただいて、有効な方向にいければ良いと思った。</p>
会長	<p>確かに高校生は今まであまり対象にしていなかったもので新しい試みだと思う。委員の意見も参考にして検討していただきたい。</p>
委員	<p>前の意見に関連してだが、高校生を取り込むというのはすごく良いアイデアだと思う。高校生は、生徒も教員も余裕がなく外部に出ていくチャンスもなかなかないが、出たいという気持ちはある。前に川口の高校にいたときに生物部を担当していたが、川口の科学館とコラボして2カ月間、生物展を行ったことがある。色々な企画や標本などを持ち込んで、今採れる昆虫を週</p>

	<p>替わりで持ってきて、生かした状態で子どもに見せたり、クイズを行ったり、色々なことをやったことがある。生徒も子供たちも非常に喜んでいて。生物部だけではなく、色々な部活があると思うので、そういうところとコラボして広げていったら面白いのではないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>高校生の活用が増えれば良いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>関連した話ではないが、新規事業の水辺の環境エコツアーが面白そうだった。安全面の配慮とか、なおかつそこで野鳥観察などスタッフの苦労などかなり大変だったのでは？彩湖の事業はすごく沢山あるが、定員が10名程度で開催されているし、スタッフの苦労が大変だと思われるがその辺りは工夫などできるか？</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年の10月以降から準備を進めさせていただいたけれども、定員について実際にカヌーを使用した中で、船の数に限りがあり、先ほど言われた安全管理の面で今回初めての方も多かったので、一から教えるとなると定員が10名になる。また、1艇ごとに1人つくような形だったため、艇数は20艇近く出ている。カヌーで実際どのように漕いだら安全か、また休憩の入れ方など、カヌー自体が体力を消耗する内容だったので、実際の下見もしたところである。委員にも下見でカヌーに乗っていただいた。その中で野鳥を見る際はこうした方が良いとアドバイスをいただいた。だいぶ難しい中ではあったが、参加者の方から好評をいただいたところである。2回目の10月21日のカヌーには、1回目に参加した人が全員来たわけではなく1週間後に文化スポーツ課でカヌーの講座があり、そちらのカヌーに参加している方もいた。カヌーが初めての方は半分以上のため、新たに教えることになる。その点に関しては安全に配慮して実施を考えている。あとは、委員からあった定員に関して安全に回れる人数で設定させていただいている。また、この人数はコロナ禍の中で設定した人数である。その辺りについて、負担の無い範囲で逐次検討を重ねていこうと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>参加者は喜ぶと思うが運営側は大変だった。</p>
<p>会長</p>	<p>これは、カヌーに乗らないと観察できない特別なものがあるのか。</p>

委員	<p>そういうわけではないが、水辺から鳥をみるとまた新鮮なものがある。双眼鏡を扱ったり、説明とかは、安全面もあるので少し厳しいと思われたので、陸上で野鳥を見るグループと、カヌーを楽しみながら鳥を見るグループと同時に行った。10月に行うものは、2つにわけないでバラバラで行う。その理由として、カヌーは10月だと水が冷たくなると、野鳥は11月から見られるため、2つに期間を分けて行う。大変だけれども好評だったし、工夫の仕方によっては広がるのではないかと思う。</p>
委員	<p>先ほど、10月は別の課でカヌーを使うという話を聞いたが、そういうところと協力して行うとか、慣れている方が増える方がより安全面だとかノウハウも増えると思う。その辺りは、一緒に開催することは今後あるか。</p>
事務局	<p>今回カヌーを実施するにあたり、既に文化スポーツ課がカヌーを実施していたこともあり、十分話を聞いた上で、今回は分けるということで実施させていただいた。今後、同じ市が行う講座であるので、検討していこうと考えている。その中で、無駄と無理のない範囲で行おうと考えている。</p>
事務局	<p>1点関連だが、カヌーに関しては教えてくれる団体がいらっしゃる。文化スポーツ課と生涯学習課が同じ団体に依頼させていただいている。従来、文化スポーツ課が行っているカヌー教室のフォーマットに野鳥を加えている形になる。今年度は準備期間が少なかったため別個に動いていたが、来年度以降は協力できる部分があれば協力したいと考えている。</p>
会長	<p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（2）については以上とする。</p> <p>（3）その他について</p>
会長	<p>議事（3）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料3-1、資料3-2に基づき、事務局から説明。</p>
会長	<p>議事（3）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>

委員	<p>実際に館に来て学習サポートを使ったということだと思うが、それに対しての子供からの意見や小学校の先生からの使った感想は届いているか？</p>
事務局	<p>博物館授業が終わると、各学校向けに博物館授業に関するアンケートを行っており、そのアンケート項目の中で、「館が提供した常設展示学習サポートの使い勝手」についての質問項目を設けていた。学校の方が夏休みをはさんでしまったため、全てのアンケート結果を見ていないが、今後学校からその内容が返ってくるので、その中で改訂に活かせるような部分については取り入れていきたいと考えている。</p>
副会長	<p>とても素晴らしいものができた后感心している。子供向けということであるが、大人が見ても十分使える内容だと思う。大人も戸田の良さを知っていただくためにもこういう資料は良いかと思う。小学校に配った分、常設展示室に置いていたけれどもすでになくなってしまったという話をいただいたが、やはり大人もこういうものが置いておくと、良い参考資料として学んでいけるし、生涯学習の一環としてこういう資料が生きていくのかと思う。</p> <p>議事（3）については以上とする。</p>
会長	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
事務局	<p>4 閉会</p> <p>以上で令和5年度第1回戸田市立郷土博物館協議会を閉会とする。</p> <p>令和5年度の郷土博物館協議会の日程として、第2回目の会議は令和6年2月頃の開催を予定している旨を事務局から説明。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午前11時45分</p>